



平成17年

学校だより

6月 NO.3

<http://www.funakoshi-e.educity.hiroshima.jp/>

広島市立船越小学校 平田健三



あいさつは 私からの 贈り物

昨年度より「あいさつ」を本校の重点目標の一つに掲げ取り組んでいます。「あいさつ」を漢字では「挨拶」と書きますが、この「挨」にも「拶」にも相手に対して自分を開いていく、自分からせまっていく、という意味があります。あいさつは人間関係をつくる第一歩です。コミュニケーション能力育成のための基盤となるものです。人間関係の希薄化が問題になっている今日の社会において、自分からあいさつができる子どもに育てていくことは人間関係力の育成の面からも欠かせないものです。

あいさつひとつによって、

家庭が変わり 学校が変わり 地域が変わり 運命が変わる！

と言っても過言ではないように思います。今、笑顔で、明るい声であいさつができる子どもが増えています。もちろん100%ではありませんが、100%をめざしたいと思います。家庭や地域の方ではいかがでしょうか。過日、「こちらからあいさつをしても子どもから声が返ってこなく寂しい思いがした」というような声を聞きました。私もそのような思いを味わうことがあります。そんなときは、元 RCC 中国放送アナウンサー 井尾義信氏の講演の一節が力を与えてくれます。それは、「あいさつは、私からのプレゼント（贈り物）です。より多くの子どもにかけ声一つで贈ってやれるプレゼントを届けてやりましょう。」というものです。声が返ってこなくてもこちらの思いはきっと子どもに（相手に）届いています。家庭でも学校でも地域でも私たち大人からどんどん声をかけてやりましょう。

頭に帽子 胸には名札 基準服

学校生活の約束の一つに「帽子と基準服を身につけ、胸に名札をつける」というのがあります。きまりは完全に守らせたいと思いますし、守らなければきまりは意味をなしません。特に基準服は PTA と協議して決めてあるものです。ご家庭の協力が欠かせません。学校では何度も声かけをし、現在ではほとんどの児童が基準服を身につけております。帽子や名札も徹底させたいとおもいます。ご理解とご協力の程、重ねてよろしくお願いたします。